

2023  
SPRING

Vol. **30**

だいしん  
ビジネス  てらす  
//// 地域のビジネスに光を照らす ///

# だいしん ビジネスてらす レポート

2023年1月～3月期・実績

2023年4月～6月期・見通し



第13回  
トップインタビュー

## 名北ゴム 株式会社

■ ■ ■ 西濃地域のおすすめショップ紹介 ■ ■ ■  
アンブ  
手作りパン ブーランジェリー Unpeu



いっしょにあしたへ  
大垣西濃信用金庫

<https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp>



LINE公式アカウント開設!  
友だち追加はこちらから!  
@ogakiseino-shinkin



本社外観



医療業界からの評価も高い「クリーンルーム」



倉庫



あいさつと笑顔が飛び交う明るい職場

第13回 / トップインタビュー

# 名北ゴム株式会社

〒491-0365 愛知県一宮市萩原町西御堂四ツ辻1527 <http://www.meihoku-gum.co.jp>  
創業/昭和51(1976)年5月 資本金/1,000万円 代表取締役社長/中道 大樹 従業員数/160名(2023年4月現在)  
事業内容/各種産業用ゴム、ウレタン・スポンジ等の部品製造 海外拠点/PT.MEIHOKU INDUSTRY INDONESIA (インドネシア)



代表取締役社長 中道 大樹 さん

## 紙一枚残して切る技術から、塵一つ残さない加工まで。様々なニーズにお応えします。

**【若山】 31歳で事業承継されたと伺いました。代替わりのタイミングはどのようにして決められましたか。**

**【中道社長】** 父は常々「(息子が)31歳になったら会社を任せる」と公言していました。なぜなら会社を創業した時31歳だったからです。そうは言っても実際に30代を迎えてみると、父は経営の最前線で働く60代—周囲の方にとっては思うところがあったのかもしれませんが。けれども、私はこのタイミングで良かったと思います。メンターとなる存在がすぐそばにいるのは心強いことでしたから。

20代は学びの時と考えていたため、お取引先で一社員として懸命に働きました。一流メーカーの製造・技術を学ばせていただいただけでなく、当社のような発注先に何を求めているのかも知ることができました。2社ほどお世話になった後、当社に入社し、平成22(2010)年に2代目社長となりました。有難いことに、経営者として未熟な部分は多くの方にお力添えをいただきました。そんな経験も含め、事業承継は早ければ早いほどいいと考えています。

**【若山】 名北ゴムさんは、ゴム以外の製品も多く手掛けていらっしゃいますね。**

**【中道社長】** 当社は、昭和51(1976)年に小さなゴム製品の加工から始まった会社です。お客様の様々なご要望に一つ一つお応えするうちに、ウレタン、スポンジ、樹脂、シリコン…と扱ひ品目が増えていき、現在は、トータルで1,000種類以上の素材を調達し、70,000種類以上の製品を加工する技術の会社となりました。

当社が得意とするのは、トムソン型を用いた打ち抜き加工と、切削、研磨、接着、組み立て、熱線(溶かし)などの加工技術です。

トムソン型は、金型に比べると1/10以下の価格で型を製作できるため、多品種小ロットから大型大量生産まで様々な加工にご活用いただけます。金型同様、トムソンの型は仕上がりの品質に影響するため、素材にあわせて80種類以上の刃型を巧みに使い分けるなど、設計の段階から創意工夫を重ねています。

平成24(2012)年には、トムソン加工の工場としては希少な「クリーンルーム(クラス1000)\*」を設置しました。衛生管理に厳しい医療機器や埃などの異物を嫌う電子機器などの加工に活用しています。

**【若山】 社会情勢の変化にはどのような対応をされていますか。**

**【中道社長】** 幸いなことに当社の技術は業種を限定するものではないため、お取引先は自動車、医療機器、電子機器、食品、建築、ガス器具など多岐にわたります。もちろん厳しい局面を迎えることはありますが、その都度新たな市場を開拓し、世の中に求められるモノをつくり続ける努力をしています。

例えば、COVID-19の流行時には業績が悪化しましたが、ニーズの高い医療分野を拡充し、フェイスシールドなどの製造を行いました。近年、当社が精力的に取り組んでいるのはEV(電気自動車)関連商品です。EV電池はわずかな異物が発火のリスクとなるため、クリーンルームでの作業が欠かせません。EVの普及とともに今後ますます成長していく分野と期待しています。

**【若山】 設備投資や人材育成はどのようにされていますか。**

**【中道社長】** 当社では、生産性を高めるために最新設備を積極的に導入しています。その時、市販の機械をそのまま使用することは

\* 1立方フィートの空気に含まれる0.5μm以上の微粒子が1000個以内に管理された空間。



とんどありません。例えば、A工程とB工程を一台の機械で同時に行えるようにアレンジするなど、現場で生まれたアイデアをメーカーさんにお伝えし、自社仕様の加工設備を開発しています。

機械を動かす製造部門では、一つの部署でスキルを磨き、一人一人の専門性を高める教育をしています。例えば、C社の精緻な加工はスペシャリストのDさんに、スピードと数を求める量産管理はエキスパートのEさんに…。お客様の多様なニーズにもれなくお応えしていくために、個性ゆたかな顔ぶれを揃え、それぞれの得意分野を活かした仕事に取り組んでもらっています。

営業部門では、製造・技術に精通したゼネラリストを育てています。新入社員は半年かけてすべての部署でOJTを経験し、全工程を把握してはじめて営業とみなします。お客様から預かった製品設計図をチェックして、どんな型と工程で、どのように製品化していくか…。ざっくりとした見積りと工程設計をその場で思い描けるようなポテンシャルの高い人材の育成をめざしています。

当社の営業は、お客様に相談ごとを持ち掛けられた時、基本的に「一度社に持ち帰り、検討させていただきます」という定型文を使いません。変化の激しい時代において、「レスポンスの早さ」こそ、生命線の一つになると考えているからです。当社の生産力、技術力、クオリティ、コスト、納期対応の5つをバランスよく活用し、お客様に「任せてよかった」「また頼みたい」と思っていたいただけるようなモノづくりをご提案しています。

**[若山]** 貴社内を歩くと実感しますが、社員の皆さんの元気な笑顔とあいさつが印象的です。

**[中道社長]** 当社の社訓は、「あいさついっぱい、やる気いっぱい、笑顔いっぱい、やさしさいっぱい」です。有難いことに、当社を訪れる



1/100mm単位の調整で実現する「キスカット」



お客様には「雰囲気がいい会社ですね」とほめていただくことが多いように思います。目に見えないけれど心に残る、感じの良さがあるとすれば、それは社員一人一人が意識して作り上げてくれた職場環境です。これからもその気質を大切に育てながら、「みんなで考え、みんなで作る」高品質なモノづくりに取り組みます。

**[若山]** やりがいをもって働ける環境づくり、参考になりました。本日はありがとうございました。

語り手／名北ゴム株式会社 代表取締役社長 中道 大樹 さん  
聞き手／大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 部長 若山 謙一

西濃地域の  
おすすめ  
ショップ紹介

アンプ  
手作りパン  
ブルーランジェリー **Unpeu**





栄養豊富なスピルリナのパン



大きな木製の回転扉が目印



イトインコーナーも併設



岐阜県大垣市大井1丁目18-1 スターブルメゾン  
営業時間／9:00～18:00 (ランチ 12:00～14:00)  
定休日／月曜日




国産小麦100%!  
地元素材の魅力を生かした  
美味しいパンを食卓へ。

北海道の小麦や小豆から、沖縄の黒糖、黒潮源流塩まで、ブルーランジェリーの名の通り、職人自らが素材を選び、生地をこねて焼き上げるこだわりパンのお店です。岐阜の玄米、全粒粉、牧場の搾り立てミルクなど、地元企業とコラボしたこの店限定のメニューも開発。近年話題のスーパーフード「スピルリナ(世界最古の藻類)」を練り込んだバターロール等も人気です。

- 調査期間 2023年1月～3月実績 2023年4月～6月見通し
- 調査時点 2023年3月
- 調査対象 西濃を中心とした地域の当金庫取引先事業所
- 調査方法 アンケート調査  
前期(3ヶ月前)・前年同月(12ヶ月前)とを比較した質問を実施。
- 回答企業数 583 (回答率 97.2%)
- 調査結果

回答企業の内訳						
製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計
195	38	107	95	124	24	583

対象企業の地域					
大垣市	瑞穂市	本美市	海津市	養老郡	
244	18	68	16	41	
不破郡	安八郡	揖斐郡	本巣郡	その他	合計
30	50	94	17	5	583

## 景気の状況と今後の見通し

全産業総合	<p>▶概況 全産業の3か月前との比較で見た業況判断DIは、0.9 となり前期△1.6 と比べ悪化した。業種別業況では、製造業、小売業、建設業、不動産業が前回調査より悪化となったが、卸売業、サービス業については厳しい状況になった。全産業総合の生産・売上については、4.3 となり前期 4.0 と比べ悪化したものの、収益については、△9.5 (前期△8.0)、資金繰りについては、△9.5 (前期△5.6) といずれも前期より悪化となった。コロナ禍の規制緩和により売上は回復しつつあるものの、エネルギー価格をはじめとする物価高が、事業所の収益に影響を与えていることが窺える。全産業総合における今後3か月間の予想では、生産・売上については引き続き堅調に推移する見通しが強いが、収益については物価高の影響により当面厳しい状況が続く見通しとなった。経営上の問題点としては、「売上・受注の減少」の割合が前回調査より減少した一方で、「人材不足」の問題が前回調査より増加している。</p>
	<p>▶製造業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍からの規制緩和により観光・イベント関連を始めとして受注は増加傾向にあるものの、コロナ前までの水準までは至っていない傾向。自動車関連については、半導体不足の影響が続いており、受注の増減が激しい。一方で、電気自動車部品の需要は高水準を維持している。</li> <li>・最も多数を占めたコメントは、物価高騰関連のものであり、取引先に対しては価格転嫁の交渉を進めているが、十分な価格転嫁に至っていない状況にある。また人材の面では、外国人実習生の採用についてコロナ禍からの規制緩和により復調の兆しがあるものの、未だ人員不足が続いている状況との声があがっている。</li> </ul>
製造業	<p>▶概況 製造業全体の業況判断DIは2.6となり前期1.5と比べ悪化した。食品製造業は0.0(前期5.3)窯業・土石業は△9.1(前期16.7)金属プレス・メッキ9.1(前期22.2)と取扱い製品により悪化した先が見受けられた。製造業全体の収益項目では、△14.4と前期△9.8と比べ悪化しており、材料・電気料金等の高騰により収益確保が厳しい状況にある事が窺える。また、収益項目の今後の見通しについては、金属プレス・メッキ以外の業種は引き続き厳しい状況が続くと予測している。</p>
	<p>▶卸売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総じて物価高騰の影響を大きく受けており、各種経費増加に伴う販売価格への転嫁が課題となっている。高騰の影響は、電気料金や燃料費、鉄鋼価格、飼料価格、鳥インフルエンザの流行による卵価格など、幅広い分野に及んでいる。</li> <li>・卸売業では物価高騰に伴う収益確保が厳しいとの意見が他業種に比べて多く、業況判断DI値の結果を裏付けるコメントとなった。また、事業再構築補助金を活用し新事業を開始するなど、新規事業に挑戦する事業所も見受けられた。</li> </ul>
卸売業	<p>▶概況 卸売業の業況判断DIは△10.5となり前期△5.3より悪化した。生産・売上、収益、資金繰りの各項目についても、前回調査より悪化しており、厳しい状況にある事が窺える。鉄鋼、木材、食品関連、光熱費の価格高騰の影響を大きく受けている業種であり、コメントからは、仕入・光熱費価格の高騰に関するものが他の業種と比べて多く見受けられた。仕入価格高騰に伴い価格転嫁を進めている事業所も見受けられたが、十分な価格転嫁が進んでいない状況にある。</p>
	<p>▶小売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の規制緩和が進み飲食店の営業が活発となり、飲食店向けの売上は回復傾向にあるコメントがいくつか寄せられた。一方でコロナ禍の規制緩和により売上の回復を見込むも、思ったより売上が伸び悩むとのコメントもあり、取扱い商材により売上回復の濃淡が見受けられる。</li> <li>・IT設備、電気自動車、省エネ家電など、昨今の社会環境の変化に関連した商材は引き続き需要が見込まれる。</li> <li>・半導体不足による自動車納期の長期化は続いており、中古自動車の価格は若干低下したが引き続き高値圏で推移している。</li> </ul>
小売業	<p>▶概況 小売業の業況判断DIは△2.8となり前期△9.4より悪化した。生産・売上、収益、資金繰りの各項目についても、前回調査より悪化した。経営上の問題点として「売上・受注の減少」と回答した事業所が44.9%と前回(52.3%)より減少したとはいえ、引き続き大きな問題となっている。コロナ禍の規制緩和が進む中、売上をどのように回復させるかが課題であり、テイクアウト・ネット販売などは引き続き力を入れていくコメントが見受けられた。</p>
	<p>▶サービス業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の規制緩和に伴い消費者の旅行・外食は増加しており、飲食店の売上は回復傾向にある。売上回復の規模については、「少しづつ回復」[徐々に増加]とのコメントであり、大幅な売上回復には至っていない状況が窺える。今後のインパウンドの回復による売上げの増加を期待している。</li> <li>・運送業については、原油価格の高騰により経費が増加している事に加え、ドライバーの人手不足が課題となっている。昨今の社会情勢の変化から防災やコロナ対策の清掃作業の需要は引き続き旺盛であるが、ペーパーレス化が進む事で売上減少を懸念する声もある。</li> </ul>
サービス業	<p>▶概況 サービス業の業況判断DIは0.0となり前期4.3より悪化した。経営上の問題点として「売上・受注の減少」と回答した事業所は44.9%と前回(38.0%)から増加、コロナ禍からの規制緩和が進み、売上回復が期待される中、まだまだコロナ前までの売上水準に回復していない事が窺える。今後の見通しについては、いずれの項目も悪化を予想しており、コロナ規制緩和が進むも、物価高騰により見通しは厳しい意見が多く見受けられた。</p>
	<p>▶建設業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に住宅施工需要は安定しており、最近の光熱費高騰により、省エネ機能を備えたエアコンなどの家電の買替・取付工事も増加傾向にある。一方で、足元の物価高騰に伴う建築価格の上昇や住宅ローンの金利変動等により、今後は消費が冷え込む事を心配する声が見受けられた。</li> <li>・建設業では、特に人材面に関するコメントが多く、若手従業員の確保が難しく従業員が高齢化している事や、受注があるが人手不足により全ての受注に対応できない、などの課題が見受けられた。木材価格の高騰は続いており、建築価格への価格転嫁が課題となっている。</li> </ul>
建設業	<p>▶概況 建設業の業況判断DIは8.1となり前期0.8より悪化した。生産・売上項目についても、8.1(前期1.6)と悪化し、コロナ禍からの受注回復が進んでいることが窺える。経営上の問題点については、「売上・受注の減少」が29.8%と前期(33.3%)より減少した一方で、「人手不足」が47.6%と前期(38.2%)より増加し、他業種より人手不足は大きな課題となっている。売上は回復しているが、若手従業員の雇用が進まず従業員の高齢化が進んでいる結果となった。</p>
	<p>▶不動産業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界自体は、昨年と変わらず推移しているとの声があるが、先行きについては長期金利の引上げが顧客の需要にどの程度の影響を与えるか懸念する声があった。</li> <li>・岐阜市西部・瑞穂市・北方町などは、住居用地域として今後さらなる進展が期待できる声がある一方で、人口減少で将来的には土地購入者が減少する・空き家が散見されるなどの意見もあり、地域によって需要が大きく異なる状況である事が窺える。</li> </ul>
不動産業	<p>▶状況 不動産業の業況判断DIは△12.5となり前期△20.8より悪化した。今後の見通しについては、業況、生産・売上、収益いずれも悪化する予測であるが、コメントの中では、金利の引上げの影響を懸念する声も見受けられた。経営上の問題点では、「人手不足」が4.2%と前期(12.5%)より改善し他業種との比較においても低い水準である一方で「競争の激化」が58.3%と前期(37.5%)から大きく増加した。</p>
	<p>▶不動産業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界自体は、昨年と変わらず推移しているとの声があるが、先行きについては長期金利の引上げが顧客の需要にどの程度の影響を与えるか懸念する声があった。</li> <li>・岐阜市西部・瑞穂市・北方町などは、住居用地域として今後さらなる進展が期待できる声がある一方で、人口減少で将来的には土地購入者が減少する・空き家が散見されるなどの意見もあり、地域によって需要が大きく異なる状況である事が窺える。</li> </ul>



▶ 図表1 景況DI値

業種	業況			生産・売上			収益			資金繰り		
	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し
全産業総合	▲1.6	0.9	1.2▲	4.0	4.3	6.0▲	▲8.0	▲9.5	▲8.4▲	▲5.6	▲9.5	▲7.7▲
製造業総合	1.5	2.6	4.6▲	9.8	7.2	12.8▲	▲9.8	▲14.4	▲13.4▲	▲4.2	▲13.5	▲11.5▲
食料品製造	5.3	0.0	▲10.0▼	5.3	5.0	5.0⇐	▲15.8	▲35.0	▲30.0▲	▲5.6	▲5.3	▲5.3⇐
衣服その他繊維製品	▲5.9	0.0	0.0⇐	11.8	0.0	15.4▲	▲5.9	0.0	▲23.1▼	5.9	▲23.1	▲15.4▲
窯業・土石	16.7	▲9.1	▲9.1⇐	16.7	0.0	0.0⇐	▲8.3	▲18.2	▲27.3▼	▲8.3	▲9.1	▲9.1⇐
金属製品	0.0	9.1	0.0▼	13.6	9.1	▲4.5▼	▲13.6	▲4.5	▲18.2▼	▲9.1	▲4.5	0.0▲
金属プレス・メッキ	22.2	9.1	18.2▲	27.8	18.2	27.3▲	0.0	▲22.7	4.5▲	0.0	▲9.1	▲4.5▲
その他製造業	0.0	▲8.7	▲8.7⇐	9.7	0.0	0.0⇐	▲19.4	▲30.4	▲34.8▼	▲3.2	▲26.1	▲26.1⇐
卸売業	▲5.3	▲10.5	▲7.9▲	5.3	▲2.6	▲2.6⇐	▲2.6	▲15.8	▲21.1▼	▲2.7	▲8.1	▲2.7▲
小売業	▲9.4	▲2.8	0.0▲	▲0.9	0.0	9.3▲	▲19.8	▲9.3	▲13.1▼	▲10.4	▲7.5	▲7.5⇐
サービス業	4.3	0.0	▲1.1▼	5.4	6.3	1.1▼	▲15.2	▲13.7	▲20.0▼	▲9.8	▲9.5	▲12.6▼
建設業	0.8	8.1	1.6▼	1.6	8.1	0.8▼	▲8.9	▲10.5	▲7.3▲	▲6.5	▲4.8	▲4.0▲
不動産業	▲20.8	▲12.5	0.0▲	▲16.7	▲16.7	▲4.2▲	▲8.3	▲8.3	0.0▲	▲4.2	▲8.3	▲4.2▲

今後の見通しは今期DI値と比較してDI値がプラスの場合は▲ マイナスは▼ 0は⇐ で表記。

▶ 図表2 設備投資の状況

業種	設備投資			
	今期実施割合	投資の内訳(最も多いもの)	設備の目的(最も多いもの)	今後の実施予定
全産業総合	4.7%	更改	合省力化	3.6%▼
製造業総合	5.6%	更改	合省力化	4.6%▼
卸売業	2.6%	その他	—	2.6%⇐
小売業	3.7%	その他	拡販投資	1.9%▼
サービス業	5.3%	その他	合省力化	3.2%▼
建設業	4.0%	機械の新・増設更改	合省力化	4.0%⇐
不動産業	—	—	—	—

(今後の実施予定は今期実施割合と比較して増加する場合は▲ 減少する場合は▼ 変わらない場合は⇐ で表記)

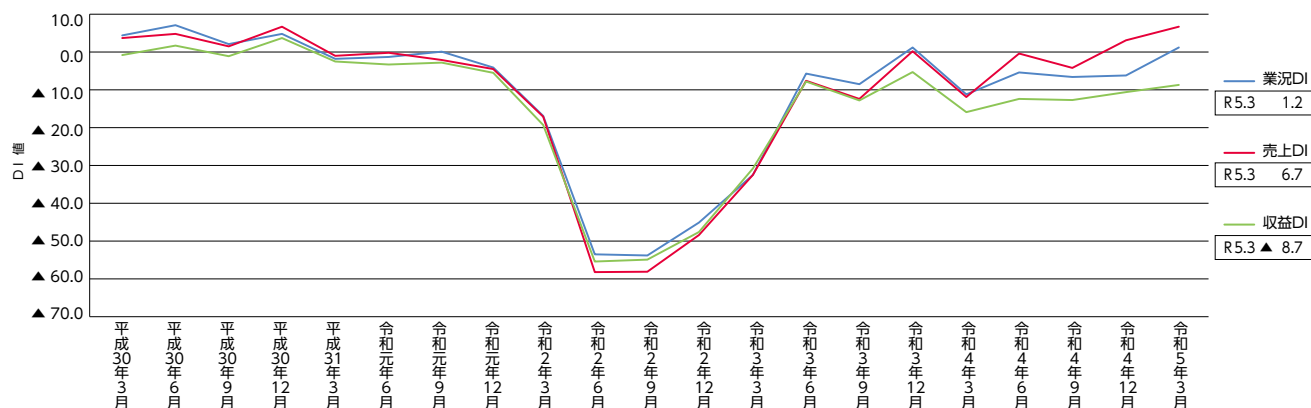
▶ 図表3 経営上の問題点

業種	経営上の問題点							
	売上・受注の減少		人手不足		競争の激化		その他	
	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較
全産業総合	39.5%	▼	30.5%	▲	11.5%	▼	5.1%	▼
製造業総合	39.5%	▼	32.3%	▲	4.6%	▼	1.0%	▼
卸売業	39.5%	▼	28.9%	▲	13.2%	▼	7.9%	▼
小売業	44.9%	▼	12.1%	▲	14.0%	▼	15.9%	▼
サービス業	44.2%	▲	32.6%	▼	11.6%	▲	5.3%	▼
建設業	29.8%	▼	47.6%	▲	10.5%	▼	1.6%	▼
不動産業	45.8%	▼	4.2%	▼	58.3%	▲	4.2%	▼

(前期との比較は前回調査と比較して増加している場合は▲ 減少している場合は▼ 変わらない場合は⇐ で表記)

▶ 図表4 主要DI値の推移

(調査の分析は3か月前と比較した回答結果を中心におこなっています。しかし3か月前との比較は季節的な要因を含んでおり長期の景況感の変化を見るため、業況・売上・収益の3項目については、前年同月と比較してどうだったのかを質問しています。図表4はこの前年同月と比較した景況感を時系列のグラフにしたものであり、西濃を中心とした地域の長期の景況感の推移を示しています)





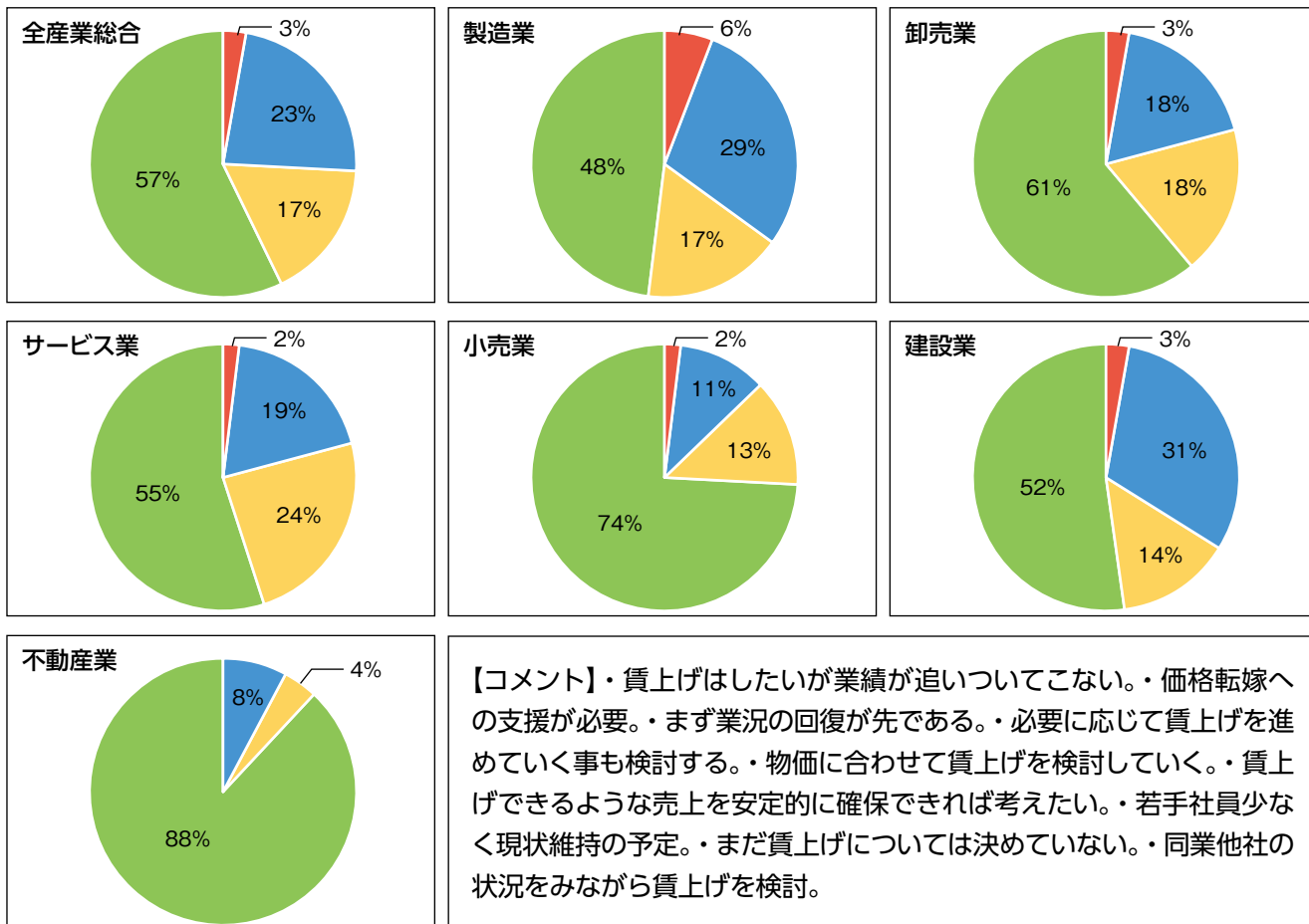
昨今の物価・光熱費高騰から政府は、企業へ従業員に対する賃上げ協力を求めています。

一方で、物価・光熱費高騰は仕入価格等の上昇にも繋がり、事業所は特に収益面で大きな影響を受けています。

このような社会情勢の中で、賃金改善の動向が大きく注目されており、今回は賃上げをテーマに特別調査を実施しました。

### 問1. 令和5年において賃上げを予定していますか？

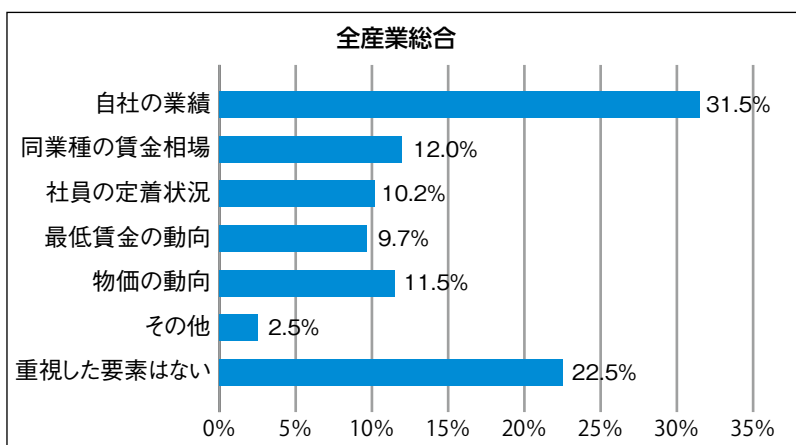
■ 実施の予定がある（実施した） ■ 検討を進めている  
 ■ 実施したいができない ■ 実施の予定はない



調査した全産業総合においては、「賃上げ実施の予定がある（実施した）」事業所は全体の3%に留まった。「賃上げ実施の予定がない」及び「実施したいができない」事業所が合計で74%を占め、全体の7割超が年内の賃上げに消極的である結果となった。

「賃上げの予定がある」及び「賃上げの検討を進めている」と回答した事業所の合計を業種別にみると、製造業が35%と最も多く、次いで建設業が34%との結果となった。

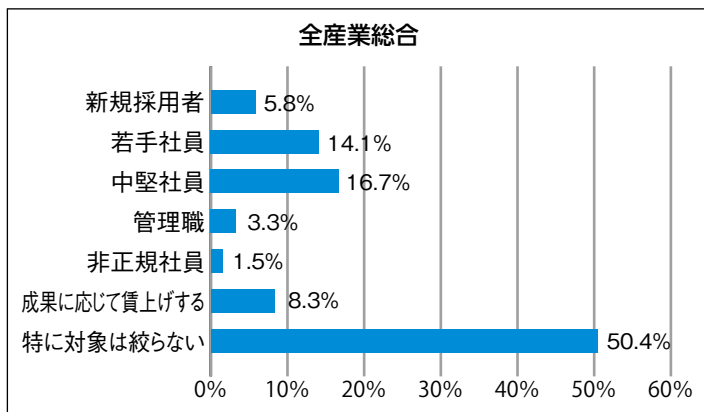
### 問2. 賃上げを判断する際に重視する（重視した）項目について教えてください。（複数回答2つまで可）



賃上げの実施を判断する事項について窺ったところ、「会社の業績」が31.5%と最も多く、業績回復あつての賃上げである意向が多い事が窺える。

一方で「同業種の賃金相場」12.0%、「社員の定着状況」10.2%、「物価の動向」11.5%と業績以外の理由にて賃上げを検討する事業所も各10%前後あり、必ずしも業績のみを重視としているわけでは無いことが分かった。

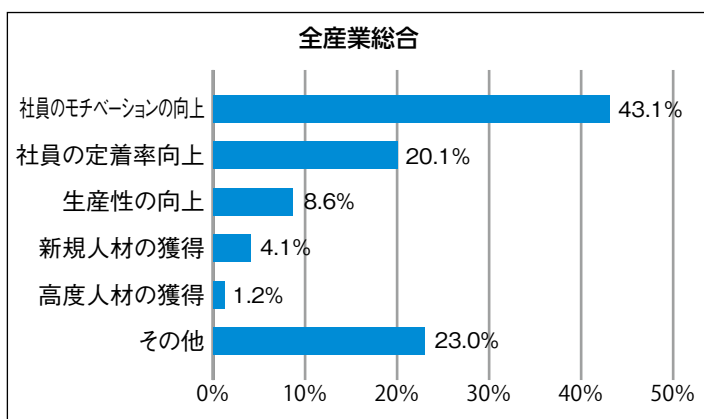
問3. 特に賃上げを実施していきたい人材について教えてください。(複数回答2つまで可)



賃上げを実施する場合に特に賃上げの対象とする人材について窺ったところ、「特に対象は絞らない」が50.4%と最も多く、半数程度の事業者は従業員を絞らず行う意向である事が分かった。

従業員別では、「中堅社員」が16.7%と最も多く、次いで「若手社員」14.1%となっている。「新規採用者」については5.8%に留まり、採用面の強化を目的に賃上げを実施する事業所は少ない事が分かった。

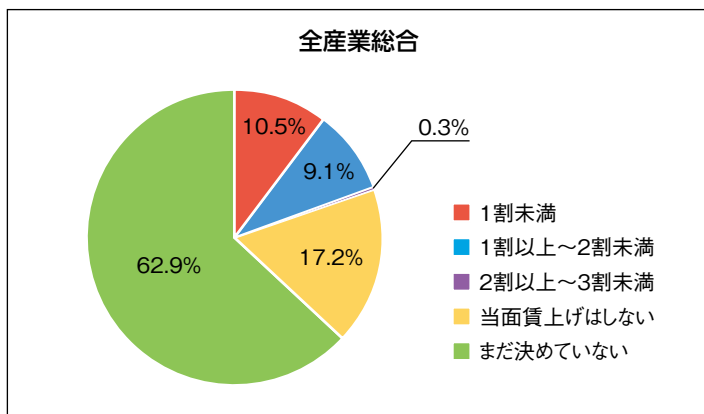
問4. 賃上げで期待する効果について教えてください。



賃上げ実施により期待する効果について窺ったところ、「社員のモチベーションの向上」が43.1%と最も多く、次いで「社員の定着率向上」が20.1%となった。

一方で「新規人材の採用」「高度人材の獲得」は合計で5.3%と少なく、賃上げにより新たな人材を確保するより、現在働いている従業員に還元する意向が強い事が分かった。

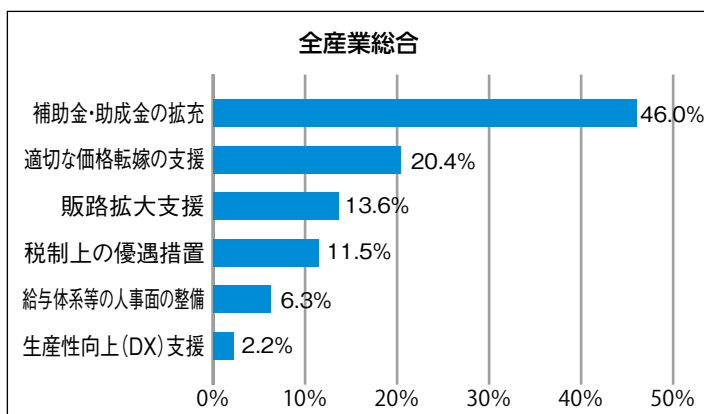
問5. 今後3年間でどの程度の賃上げを予定していますか？



今後3年間でどの程度の賃上げを予定しているか窺ったところ、「まだ決めていない」が62.9%を占め半数以上の事業者が不透明である状況が分かった。

賃上げを予定する事業所の中では、「1割未満」が10.5%と最も多い一方で「2割以上3割未満」が0.3%、「3割以上」と回答した事業所はゼロであった。賃上げの水準としては、多くとも2割程度で考えている事が分かった。

問6. 賃上げを進めていく上で望む支援施策について教えてください。



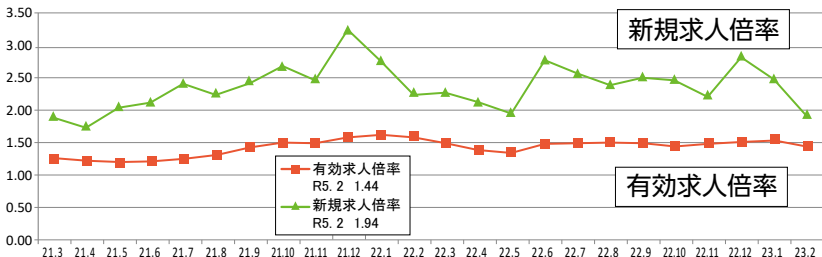
賃上げを進めていく上で望む支援策について窺ったところ、「補助金・助成金の拡充」が46.0%と最も多く、国や地方公共団体の支援を望む声が多い事が分かった。

また「適切な価格転嫁の支援」が20.4%と2番目に多く、昨今の物価・光熱費高の影響が事業所の賃上げ対応に影響を与えていることが窺える。



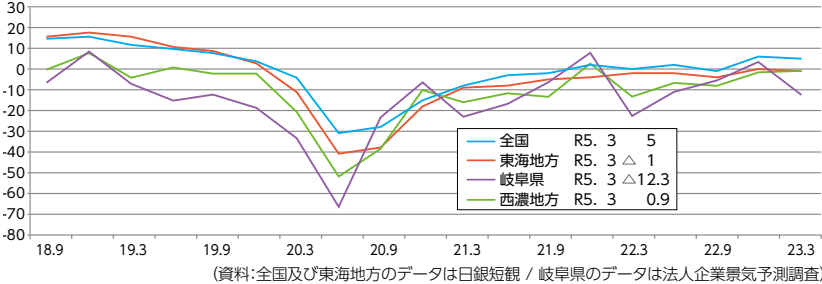
### 有効求人倍率・新規求人倍率の推移

(対象地域：西濃地方=2市4郡=大垣市・海津市・不破郡・養老郡・安八郡・揖斐郡) (単位：%)



### 各地域と当金庫地区内の景気動向比較

(単位：ポイント)



※直近調査データ対象企業数 回答率(%)

全国	9,199	99.2	岐阜県	169	86.4
東海地方	662	99.4	西濃地方	600	96.3

### 求人倍率

#### ●新規求人倍率とは

新規求人数(当該月に新たに受け付けた求人数の合計)を新規求職者数(当該月に新たに受け付けた求職者数の合計)で割ったもの

#### ●有効求人倍率とは

月間有効求人数(先月から繰り越した求人数に、当月新たに発生した求人数を合計したもの)を月間有効求職者数(先月から繰り越した求職者数に、当月新たに発生した求職者数を合計したもの)で割ったもの

### 景気動向比較

#### ●日銀短観とは(DI調査)

正式名称を「全国企業短期経済観測調査」といいます。全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを目的に、全国の約1万社の企業を対象に四半期毎に実施されており

ます。全国のデータ 出典 / 「全国企業短期経済観測調査」(日本銀行) <https://www.boj.or.jp/statistics/tk/index.htm/> を加工して作成

東海地方のデータ 出典 / 「東海3県の短観」(日本銀行 名古屋支店) <https://www3.boj.or.jp/nagoya/toukei.html> を加工して作成

#### ●法人企業景気予測調査とは(BSI調査)

法人企業景気予測調査は我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、資本金1千万円以上の法人企業を対象に実施している調査です。

出典 / 「法人企業景気予測調査」(東海財務局) [http://tokai.mof.go.jp/gifu/g\\_keizaiindex.htm](http://tokai.mof.go.jp/gifu/g_keizaiindex.htm) を加工して作成



お客様とお客様をつなげたい

「つながり」は、だいしん経済クラブ・だいしん経営者懇話会を中心に、地元経営者の皆様のご縁を結ぶコーナーです。



株式会社日装 日比野 直哉さん



グリーンワーク株式会社 安田 達矢さん



株式会社養本社 土屋 雅裕さん



株式会社借拓堂アート 岡崎 拓さん



有限会社根尾開発 小澤 建司さん

株式会社借拓堂アート 代表取締役 岡崎 拓さん (本巢市出身/47歳)

掛け軸をはじめ、美術品の製造から販売まで。自社で一貫製造しています。本巢郡北方町平成7-33 Tel.058-323-1810



有限会社根尾開発 代表取締役 小澤 建司さん (本巢市出身/44歳)

淡墨桜をはじめ、根尾地区の山林を管理。植林から伐採まで行っています。本巢市根尾樽見2-7 Tel.0581-38-2353

GrungeとF1、2つの異なる爆音を愛しています。グランジロックをきっかけにギターを始め、現在も月1で練習(発散)しています。また、F1観戦(鈴鹿)も年に1度のお楽しみ。初観戦の時はTVとまったく異なる音と迫力に衝撃を受けました!昨年、3年ぶりに開催された日本GP(鈴鹿)もちろん見に行きました。いずれはモナコでGPを生観戦したい。そのためF1の動画を英語で聞くなど、現在英語を勉強中です。

花園や甲子園のように、いつかはMBX=根尾に。私の影響で自転車競技を始めた長男が、BMXの強化指定選手に選ばれ、パリ五輪出場に向けて世界を転戦中です。TOKYO2020で正式種目となったBMXは、世界ランクの日本人選手が増える一方、まだ競技人口が少ないため練習場所に限りがあります。そこで根尾に自前で施設を作りバックアップをしています。将来的には競技者や愛好者が集う場所になりたいと考えています。

## だいしん ビジネスでらす レポート

- 調査期 2023年1月~3月期
- 発行所 大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 〒503-0828 大垣市恵比寿町1丁目1番地 TEL(0584)75-6148
- 発行日 2023年4月21日

### DI(Diffusion Index)について

DIとは、増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの力が強いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかを見る方法である。(例)前期に比べて売上が増加した企業割合30%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合20%の場合、DIは30%-20%=10%となる。

### 本レポートの分析について

本レポートの全業種総合及び各業種の分析は、前期(3ヶ月前)と比較した回答結果で実施しました。

だいしん ケータイサイトは こちらから

